

## 【参加申込規定】

### 参加料 (消費税込)

一般社団法人日本能率協会法人会員	440,000円(1名あたり) (二人目以降 385,000円)
上記以外	495,000円(1名あたり) (二人目以降 440,000円)

### 参加申込方法

- ① ホームページから申込書に必要事項をご記入のうえ、お申込みください。  
開催間際のお申込みは、ご参加いただけない場合がございます。あらかじめ電話でご確認ください。
- ② 電話ではご予約のみの承りとなります。
- ③ 請求書は開催1か月前から発送を開始いたします。なお、1か月以内のお申込みの時は、申込書受領後1週間ほどで請求書を発送いたします。
- ④ 参加料は請求書に記載されており、「お支払い期限」までに指定の銀行口座へお振込みください。期限までにお支払いいただけないお客様については、ご参加いただけない場合がございますのでご注意ください。なお、支払い期限が過ぎる場合は、請求書の「入金連絡票」にてお振込み日のご連絡をお願いいたします。(振込み手数料については貴社にてご負担ください)

**参加定員** 24名 (10名に満たない場合は、中止することがあります。)

### キャンセル規定

参加者のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。代理の方もご都合がつかない場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。

- 開催30日前～15日前(開催当日を含まず)…………… 参加料の10%
  - 開催14日前～ 8日前(開催当日を含まず)…………… 参加料の30%
  - 開催 7日前～ 前々日(開催当日を含まず)…………… 参加料の50%
  - 開催前日および当日(開催当日を含まず)…………… 参加料全額
- (万々キャンセルの場合は必ずJMAマネジメントスクールのお問い合わせフォームでご連絡ください。)

### プログラム内容のお問い合わせ先

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター  
R&Dイノベーションリーダー交流フォーラム事務局  
〒105-8522東京都港区芝公園3-1-22  
TEL:03(3434)1410

※1社3名までご参加可能です。※上記参加費用には、テキスト費を含みます。  
※合宿を伴う場合は、合宿費が含まれます。(ただし、現地までの交通費は含みません)  
※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。  
<https://www.jma.or.jp/membership/>  
※参加申込規定はJMAマネジメントスクールのWebページ(<https://school.jma.or.jp/>)に掲載しておりますのでご確認ください。

### 免責事項

天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については小会ではその責任を負いかねますのでご了承ください。

### 会員制度のご案内

一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした会員制度を設けセミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。是非この機会にご入会をご検討ください。  
お問い合わせ:産業振興センター TEL 03(3434)1410(直通)

### ご注意

- ・お申込みをいただいた方にはセミナーインフォメーションをお送りすることがあります。
- ・講義の録音・撮影はご遠慮ください。
- ・テキストは会場でお渡しします。参加者以外の方にはテキストはおわけいたしません。
- ・同業他社からのご参加はお断りする場合があります。

### 個人情報のお取り扱いについて

一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は小会の個人情報等保護方針(<https://www.jma.or.jp/privacy/>)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催し物に関する確認・連絡およびJMA主催の関連催し物のご案内をお送りさせていただく際に使用させていただきます。

### キャリアアップ支援の助成金

厚生労働省の助成金制度をご利用いただくことができます。  
申請等のお問い合わせは事業所所在地を管轄する「都道府県労働局」でご確認ください。

# The 19th R&D Innovation Leaders Forum

異業種対話から生まれる気づきと学び  
そこから起動するイノベーションマインドセット

# 2024

## 第19期 R&D イノベーションリーダー交流フォーラム

開催日程：2024年10月～2025年3月(全6回・8日間・合宿2回)

対 象：【領 域】研究・開発、新事業開発、技術開発  
【参加層】マネジャー、室長、リーダー、チーム長

定 員：24名

- ね ら い：① 新しい技術やビジネスの開拓者との対話によりイノベーションの本質を学ぶ  
② CTOやビジネスリーダーとの交流を通じて、リーダーシップの在り方を学ぶ  
③ 異業種分野のメンバー同士の交流により、新たな発見や深い気づきを得る

### > 監修・コースリーダー



広島大学  
デジタルものづくり教育研究センターセンター長・特命教授  
林 隆一 (敬称略)

米国デュポン社の日本法人で研究開発部長、営業部長などを歴任し  
2014年より常務執行役員。  
在任中に技術開発本部を立ち上げ、本部長として日本発信型の技術開発を推進。  
2016年に退社後は(一社)日本能率協会主催「日本CTOフォーラム」  
ファシリテータを務める傍ら、芝浦工業大学にて技術経営教育を担当、  
2021年より広島大学デジタルものづくり教育研究センター長。  
スタンフォード大学や米国デュポン社中央研究所における  
米国勤務経験と多数の海外企業との協業経験を生かして  
国際的なR&D・イノベーション活動を推進。

## お申込みについて



### パソコン(各種検索サイト)からダイレクトで

▶ セミナーID(半角数字)

▶ もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

※貴社の情報セキュリティ方針等でWebからの申込みが難しい場合は  
JMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合わせください。TEL:03(3434)6271



▶ スマートフォン  
▶ タブレットから



申込に関する問い合わせ先(参加証・請求書・キャンセル・変更などに関する内容)

JMAマネジメントスクール TEL:03(3434)6271

電話受付時間 月～金曜日/9:00～17:00 ※ただし祝日を除く

E-Mail: [seminar@jma.or.jp](mailto:seminar@jma.or.jp) FAX: 03(3434)5505

最新の情報・お申込は

R&D イノベーションリーダー

日程・プログラム内容

CTOインタビュー・  
チーム研究

<p><b>第1回</b></p> <p>2024年 10月25日(金) (1日) @都内</p>	<p><b>イノベーションの課題を共有する</b></p> <p>受講者同志の課題感・パターンを共有し討議する。本内容を後半のチーム研究に活かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オリエンテーション</li> <li>• コースリーダー講義</li> <li>• 自己紹介・イノベーション課題共有</li> <li>• ワークショップ</li> </ul>	
<p><b>第2回</b></p> <p>2024年 11月29日(金) 11月30日(土) (2日間・合宿) @鯖江市</p>	<p><b>イノベーションの起点を考える</b></p> <p>既存のやり方で行き詰まった時に、経営者は何を考えどのように行動したのか、を考察し発想の転換や限界（と思ったこと）の突破をわが身に置き換えて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ゲスト講義</li> <li>• フィールドワーク</li> <li>• グループディスカッション</li> </ul>	<p>CTO インタビュー</p>
<p><b>第3回</b></p> <p>2024年 12月13日(金) (1日) @都内近郊</p>	<p><b>外部環境変化を捉える視点を持つ</b></p> <p>変化し続ける外部環境に適應するため、マーケティングセンスを養う。自社よがりのイノベーション発想からの脱却をはかり、戦略的思考を持つリーダーを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ゲスト講義</li> <li>• グループディスカッション</li> <li>• チーム研究活動</li> </ul>	<p>チーム編成発表 チーム研究活動 スタート</p>
<p><b>第4回</b></p> <p>2025年 1月17日(金) 1月18日(土) (2日間・合宿) @葉山合宿</p>	<p><b>自身の原点に向き合い未来を構想する</b></p> <p>CTOインタビューの成果を共有する。自身がなぜこの会社に所属しているのか、その自分のミッションとは何か、残り時間から逆算して、今なすべきことを自覚する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ゲスト講義</li> <li>• CTOインタビュー共有</li> <li>• グループディスカッション</li> <li>• チーム研究活動</li> </ul>	<p>CTO インタビュー 発表</p>
<p><b>第5回</b></p> <p>2025年 2月14日(金) (1日) @横浜</p>	<p><b>イノベーションを牽引するリーダーシップを考える</b></p> <p>リーダーなくしてイノベーションは起こらず。リーダーシップとは何かを肚落ちするまで考え、学びの総仕上げをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ゲスト講義</li> <li>• グループディスカッション</li> <li>• チーム研究活動</li> </ul>	
<p><b>第6回</b></p> <p>2025年 3月(調整中) (1日) @都内</p>	<p><b>最終報告会</b></p> <p>本フォーラムで学んだ内容をチームでまとめる。個人発表は自身の強み弱みを再認識し今後のアクションにつなげるものにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• チーム発表</li> <li>• 個人発表</li> <li>• 共有からの学び</li> </ul>	<p>最終 報告会</p>

※上記内容は変更になる可能性があります。予めご了承ください。

※CTOインタビューとは、受講者が自社のCTOに、リーダーとしての姿勢や考え、自社の将来や課題について直接インタビューを行うものです。その内容を参加者全員で共有し、互いの学びと気づきを深めます。

【ご参考】2023年度ゲスト講師一覧（敬称略／登壇順／役職登壇時）

株式会社飛騨の森でクマは踊る 代表取締役 COO 松本剛氏 / パナソニックホールディングス 執行役員 グループCTO 小川立夫氏  
Co-Innovation University 辻田雄佑氏 / 京都大学経営管理大学院 客員教授 竹林一氏 / サントリー生命科学財団 理事長 辻村英雄氏  
SEE THE SUN 代表取締役社長CEO 金丸美樹氏 / 日産財団 理事長 久村春芳氏

研修終了時

- ▶ 半年間を共に過ごしたメンバー一人一人が、自分以外のメンバー全員へ、今後の成長に向けた「メンバー相互フィードバック」を行います。
- ▶ 学びと気づきをチームパートと個人パートそれぞれ報告書にまとめ、研修終了後の指針としていただきます。

リーダーシップを起動するための4つの仕掛け

01

多彩なゲスト講師陣

毎回各分野で活躍するイノベーションリーダーを招き、未知の領域への挑戦や、失敗談、周囲の巻き込み方など、様々な角度で討議します。

02

CTOインタビュー

自社と自身のベクトルを確認する機会として、自社CTO（技術管掌役員）との対話をさせていただきます。ビジネスの話のみならず、CTOになるまでのエピソードや現状への本音を共有することで、自らの行動指針を模索いただきます。

03

異業種交流

異業種メンバーが毎回場所を変えグループを変え議論をする中で、自社や業界では気づかない示唆を得ます。2回の合宿は、自然の中で公私にわたる話をしたりと、職場ではなかなかできない本音の交流の機会となります。

04

チーム研究と個人レポート

毎回の気づきや学びは都度個人レポートにまとめていただきます。会期中で始まるチーム研究は、最終報告会上司や同僚も招き全員で共有いたします。修了後は報告書としてまとめ、悩める時の振り返りツールとして活用いただきます。

気づきと学び

第18期（2023年度受講後レポートより）

合宿は研修メンバーの連携を深めるうえでも大きな意義があり、個人的にも楽しく研修への参加ができた。初めはやはり質問などはなかなかハードルが高く、苦労した場面も多かったが、メンバーの皆さんの能力や人柄を知るにつれ、だんだんと一体感やチームワークが醸成され、内容の濃い取り組みができたように思う。フォーラムのテーマおよび構成については、CTOインタビューを含め、結果として全てがながり、意味のあることを理解できた。

第一三共ヘルスケア 池田伸也

オンライン化が進む中でここまで現場に拘った研修は少ないので今後も続けて欲しいです。今回の研修に参加して、日頃の業務から離れて視点で考えることができました。良い機会を与えて頂き感謝しています。

UBE 勢村加容子

各回の講演内容が段階的に理解が深まる順番となっており、さらにグループ討議を重ねることで理解が深まりました。非常に有効で、よく考えられたカリキュラムだと感じました。

安川電機 戸畑享大



これまでの参加企業（参加当時の企業名五十音順）

アサヒグループホールディングス/味の素/味の素ファインテック/イシダ/上田石灰製造/江崎グリコ/NECトーキン/エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ/エルゼビア・ジャパン/エンプラス/大塚テクノ/オムロン/オリジン電気/オリンパス/花王/カネボウ化粧品/キヤノン/KHネオケム/小島プレス工業/コニカミノルタ/コニカミノルタテクノロジーセンター/コマツ/サッポロビール/サッポロビールホールディングス/三立製菓/三洋化成工業/ジェイテクト/JRAシステムサービス/シスメックス/資生堂/清水建設/シャープ/ジャトコ/昭和電工(現RESONAC)/新日鐵住金ステンレス/住友化学/住友金属工業/住友スリーエム/住友電気工業/セイコーインスツル/積水エンジニアリング/ソニー/ソニーLSIデザイン/第一三共ヘルスケア/ダイキン工業/大正製薬/大日本住友製薬/TIS/TDK/DTS/デュボン/デンソー/東海理化/東海旅客鉄道/東京電力/東芝/東洋アルミニウム/東洋インキSCホールディングス/巴川製紙所(現 巴川コーポレーション)/ナブテスコ/日立製作所/日揮/日揮ホールディングス/日産化学工業/日産自動車/日本アイ・ビー・エム/日本信託/日本精工/日本たばこ産業/日本特殊陶業/日本バルカー工業/日本マイクロバイオファーマ/博報堂/パナソニック/日立造船/フジクラ/富士ゼロックス/富士フィルム/双葉電子工業/ブラザー工業/古野電気/ポラ化成工業/ポッカサッポロフード&ビバレッジ/本田技術研究所/マックス/三井金属鉱業/三菱ケミカル/三菱ケミカルホールディングス/三菱電機/三菱マテリアル/明治/Meiji Seika ファルマ/モリタ東京製作所/森永製菓/安川電機/リコー/ヤマハモーターエンジニアリング/YKK/YKK AP